

「APN グランドデザイン委員会」

1. 構成員

1) 委員

委員長：山勢博彰（山口大学大学院）

委員：青木美紀子（聖路加国際大学）、川本利恵子（湘南医療大学）、
坂本真理子（愛知医科大学（日本私立看護系大学協会））、末永真由美（目白大学）、
松下由美子（佐久大学）、村上好恵（東邦大学）、村嶋幸代（大分県立看護科学大学）、
山本則子（東京大学大学院）、渡邊眞理（湘南医療大学）

2) 協力員

中村美鈴（東京慈恵会医科大学）

3) オブザーバー

鎌倉やよい（JANPU 代表理事・日本赤十字豊田看護大学）

2. 趣旨

本委員会は、日本における高度実践看護師（Advanced Practice Nurse；APN）の早急な普及啓発を目指して、現在の高度実践看護師（以下、APN という）の実情を踏まえ、APN の資格制度、教育、役割・機能と裁量の拡大等についてグランドデザインを作成することを目的とする。

3. 活動経過

前期委員会の中間報告を基に、主な事項について審議した。審議の主項目は、1) 教育の標準化と教育方法の改善、2) 国家資格制度の創設、3) NP 制度の統一化、4) CNS 分野の再編または統合、5) NP と CNS の関連・位置づけなどである。認定看護師の B 課程や特定行為研修修了者は、APN の一部の単位を認定できる可能性があること、教育側の負担軽減が必要なこと、分野の再編・統合の必要性、日本専門看護師協議会・日本看護系学会協議会との連携、APN の将来像の明確化、市民への貢献内容への焦点化、APN への診療報酬を付けるための対策、教育機関と臨床との連携の必要性など下記の項目について検討した。

1. 実践活動モデルの策定と効果の可視化
2. 教育の標準化と教育方法の改善
3. 国家資格制度の創設
4. NP 制度の統一化
5. 入学者・教育課程増員策
6. その他：CNS の分野統合（再編）

4. 今後の課題

グランドデザイン案の理事会での審議を受け、案の再検討をし、最終案を作成する。